

スペシャル・レポート フィデリティ・チャイナ・フォーカス・オープン R & Iファンド大賞2009 受賞に関するお知らせ

フィデリティ投信株式会社

2009年4月28日

フィデリティの中国株ファンドが
「R & Iファンド大賞2009」の『優秀ファンド賞』を受賞しました。

R & Iファンド大賞2009

< 投資信託 >

中国関連株式部門 優秀ファンド賞

フィデリティ・チャイナ・フォーカス・オープン

2008年に続いて2年連続の受賞です。

R & Iファンド大賞2009の概要

「投資信託」、「投資信託／総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内公募追加型株式投信、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内公募追加型株式投信、「確定給付年金」は「R&I ユニバース計測サービス」に登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR & Iによる分類をベースとしている。今年度について、「投資信託」は国内株式型、国内中小型株式型、国内債券型、外国株式型、外国債券型、国内REIT型、外国REIT型、中国関連株式型、地域特化型債券型、国内SRIファンド型の各カテゴリーを、「確定拠出年金」は国内株式型、国内債券型、外国債券型の各カテゴリーを、「確定給付年金」は国内株式型、国内債券型、外国株式型、外国債券型、バランス型の各カテゴリーを対象とした。また、「投資信託／総合部門」は国内株式総合、外国株式総合、外国債券総合、バランス総合の各カテゴリーを対象とした。選考は、選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「確定給付年金」では2007、2008、2009年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2009年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」では「シャープ・レシオ」を採用、表彰対象は設定から3年以上かつ償還予定日まで1年以上の期間を有し、残高が10億円以上かつカテゴリー内で上位75%以上の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では定量評価として「インフォメーション・レシオ」を採用している。なお、「投資信託」、「確定拠出年金」では上位1ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位2ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金」では受賞区分を設けていない。「投資信託／総合部門」では、2009年3月末においてトラックレコード3年以上かつ残高10億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間における「シャープ・レシオ」の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位1社を「最優秀賞」、次位1社を「優秀賞」として表彰している。詳細はR & Iのウェブサイト(<http://www.r-i.co.jp/toushin/>)をご覧ください。

「R & Iファンド大賞」は、過去のデータに基づいたものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、投資の参考となる情報を提供することのみを目的としており、投資家に当該ファンドの購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、R & I社の顧客に対して提供している定性評価情報とは関係ありません。当大賞は信頼すべき情報に基づいて格付投資情報センターが算出したものであり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されていません。当大賞に関する著作権その他の権利は、格付投資情報センターに帰属します。R & I社の許諾無く、これらの情報を使用(複製、改変、送信、頒布、切除を含む)することを禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーについては、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、必ずしも受賞運用会社の全ての個別ファンドそれぞれについて運用実績が優れていることを示すものではありません。投信の基準価額等はQUICK調べ。

投資信託はリスク商品であり、投資成果は保証されておらず、投資元本を下回ることがあります。また、収益や投資利回り等も未確定の商品です。詳しくは、投資信託説明書(目論見書)をご参照ください。

スペシャル・レポート フィデリティ・チャイナ・フォーカス・オープン R & Iファンド大賞2009 受賞に関するお知らせ

フィデリティ投信株式会社

ご注意ください!

RISK

リスクのある
商品です

ファンドの主なリスク内容について

**投資信託はリスク商品であり、投資成果は保証されておらず、
投資元本を下回ることがあります。**

また収益や投資利回り等も未確定の商品です。

下記はファンドのリスクの一部をご説明したものです。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご参照ください。

□ 損失の可能性

ファンドが主として投資するマザーファンドは、主に中国・香港等の海外の株式を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。ファンドおよびマザーファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動により基準価額は変動します。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。委託会社の指図による行為によりファンドに生じた損益はすべて受益者に帰属し、元本が保証されているものではありません。

□ 有価証券(株式・債券等)の価格変動リスク

基準価額は株価や債券価格等の市場価格の動きを反映して変動します。

□ 為替リスク

日本以外の外国の株式や債券等に投資を行なう場合は、為替リスクが発生し、各国通貨の円に対する為替レートにより、ファンドおよびマザーファンドの基準価額が変動します。

□ カントリー・リスク

中国や香港等の海外の金融・証券市場に投資を行なう場合は、当該国・地域の政治、経済および社会情勢の変化により、金融・証券市場が混乱した場合に、基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。また、投資対象先がエマージング・マーケット(新興諸国市場)の場合には、特有のリスク(政治・社会的な不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等)が想定されます。

□ 解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動のリスク

解約資金を手当するために保有証券を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や取引量等の状況によって基準価額が大きく変動する可能性があります。また、保有証券の売却代金回収までの期間、一時的にファンドで資金借入を行なうことによってファンドの解約代金の支払に対応する場合、借入金利はファンドが負担することになります。

□ 信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。また、債券等へ投資を行なう場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

□ ベンチマークとの乖離に関するリスク

ファンドのパフォーマンスは、ベンチマークを上回る場合もあれば下回る場合もあります。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果の実現を目指しますが、ベンチマークを上回ることを保証するものではありません。また、投資対象国または地域の株式市場の構造変化等によっては、ファンドのベンチマークを見直す場合があります。

□ ボトム・アップ・アプローチに関するリスク

ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドは、ボトム・アップ・アプローチで組入銘柄を決定しますので、ポートフォリオの国別配分、通貨配分および業種配分や銘柄構成等が、ベンチマークや投資対象国または地域の株式市場全体とは大きく異なるものとなる場合も想定されます。その場合、ファンドおよびマザーファンドの基準価額の値動きは、ベンチマークや投資対象国または地域の株式市場全体の動きと大きく異なる場合も想定されます。

□ 有価証券先物取引等のリスク

ファンドは、証券価格の変動または証券の価値に影響を及ぼすその他の諸要因に関するファンドのリスクを増加または減少させる運用手法(たとえば有価証券先物取引等)を用いることがあります。このような手法が想定された成果を収めない場合、ファンドはその投資目的を達成できず、損失を生じるおそれがあります。

スペシャル・レポート フィデリティ・チャイナ・フォーカス・オープン R&Iファンド大賞2009 受賞に関するお知らせ



フィデリティ投信株式会社

商品の内容やお申込みの詳細については

委託会社	フィデリティ投信株式会社
インターネットホームページ	http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html
フリーコール	0120-00-8051 受付時間:営業日の午前9時～午後5時または販売会社までお問い合わせください。
留意点	お申込みおよびご換金の受付については、原則として、毎営業日(ただし、香港取引決済所の休業日と同日の場合は除きます。)の午後3時(半日営業日の場合は午前11時)まで受付可です。

その他のファンド概要

設定日	2004年10月20日
信託期間	原則として無期限
ベンチマーク	MSCIチャイナ・インデックス(税引前配当金込/円ベース) [*] [*] MSCIチャイナ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)とは、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社(MSCI社)の算出する、中国株式の動きを示す指数です。 MSCIチャイナ・インデックスに関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI社に帰属しております。MSCI社が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI社は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI社は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Barraの許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。
収益分配	毎年10月31日(ただし休業日の場合は翌日以降の最初の営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
お申込み価額	お申込み受付日の翌営業日の基準価額
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の解約価額(=基準価額-信託財産留保額) ご換金代金の支払開始日は原則として換金請求受付日より5営業日以降になります。

ファンドに係る費用・税金

お申込み手数料	3.15%(税抜き3.00%)を上限として販売会社がそれぞれ定める料率とします。
ご換金手数料	なし
信託報酬	純資産総額に対し年率1.8375%(税抜き1.75%)
その他の費用	法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等が投資信託財産から差し引かれます。
課税関係	原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。

信託財産留保額 基準価額に対して0.30%

^{*}当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

^{*}課税上は株式投資信託として取扱われます。

^{*}ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	フィデリティ投信株式会社 【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号 【加入協会】社団法人 投資信託協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会 投資信託財産の運用指図などを行ないます。
受託会社	住友信託銀行株式会社 投資信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指示・連絡などを行ないます。
運用の委託先	FIL-インベストメント・マネジメント(香港)・リミテッド(所在地:香港) 委託会社よりファンドの主要投資対象であるマザーファンドの運用の指図に関する権限の委託を受け、マザーファンドの運用の指図を行ないます。
販売会社	販売会社につきましては、委託会社のホームページ(アドレス: http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html)をご参照または、フリーコール:0120-00-8051(受付時間:営業日の午前9時～午後5時)までお問い合わせいただけます。 ファンドの募集の取扱い、一部解約の実行の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金・一部解約金の支払などを行ないます。

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。
- 投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいませうようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- 販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- 「フィデリティ・チャイナ・フォーカス・オープン」が投資を行なうマザーファンドは、主として海外の株式を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発

- 行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は契約締結前交付書面および投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html>)をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- FIL LimitedおよびFMR LLCとそれらの関連会社のネットワークを総称して「フィデリティ」ということがあります。

スペシャル・レポート フィデリティ・チャイナ・フォーカス・オープン R & Iファンド大賞2009 受賞に関するお知らせ

フィデリティ投信株式会社



フィデリティ・チャイナ・フォーカス・オープン 販売会社情報一覧(順不同)

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協	(社)金融先物取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号			
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号			
黒川木徳証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号			
そしあす証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号			
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号			
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第129号			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号			
株式会社豊和銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第7号			
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号			
三菱UFJメリルリンチPB証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第180号			
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第6号			

* 上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
販売会社によってお申し込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。

KI090428-1